



じむじや

2008年 8月 8日 No. 1
編集: 名大職組事務職員部会
発行: 名大職組中央執行委員会
連絡先: 4913 (TEL&FAX)
工学部2号館 北館3階332

Home Page: <http://nuufs.org> E-Mail: nuufs@nuufs.org

みなさん、毎日暑いですね。ばていていませんか？疲れる前に早めに休みをとってください。
久々に事務部会ニュースをお届けします。

1月12日(土)の午後、事務部会OBをまじえ「大学マネジメント検討会」が開かれ、「人事評価」「文系事務統合の現状と問題点」「業務量調査」の3つのテーマについて、職場の現状を出し合いながら意見交換しました。当日の様子と参加者の声を2回にわけて紹介します。

【1回目は人事評価です】

「中期目標にあげたから」という理由でとりあえず試行という形で導入された評価制度。「組織目標との関係で設定をたてるように」と、目標については当初の説明会との内容と異なり、部局によりまちまちな対応となっているようです。

そもそも評価制度の本来の目的は？
本来あるべき姿について考え意見交換しました。

○評価制度の目的はどうあるべきか？
===①信頼関係を高めるため②やる気をおこさせること③賃金を下げるためであってはいけない===

○目標のたて方はどうしたらいいか？
Aさん「大学の目標評価は数値のみではなく、抽象的な部分が必要なはず」
Bさん「組織目標の具体的な中身をはっきりさせるためには議論する必要があるから、ミーティングが必要」
Cさん「全国的には「職員の質の向上」ということが多い」

○他大学の例はどうなってるの？
まず管理者から目標をたて、ミーティングをしながら順に下へおろしていくやり方
目標を具体的に(例:「中期目標を読んでいる」)示しているところあり

○組合の取り組みは？
Aさん「中身を検討しないで批判してはいけない」
Bさん「運用と本質をわけて検討することが必要で、考え方について提案していくことが重要」

<参加者の声>

Tさん

人事評価制度は、組織の活性化や人材養成を目的にしていると説明されているが、評価を人事や昇給・昇格に反映するだけではその目的は達成できないと思う。評価の低い人をどのように成長させ、その質を向上させるのか、評価の高い人をどのように伸ばすのか、の計画が必要ではないか。

今まで不透明で、その公正さに疑問があった人事の問題を指摘して、この制度が透明性、公正性を確保できるよう、その内容について意見を出していくことが必要だと思いました。

Kさん

管理職は権限と責任の重さから、部下からの評価も含めて、よりきびしく行われるべきであること、総人件費改革の問題と【評価】そのものの本質的な議論を切り離す必要があること、責任をもって永続的に行う業務における正職員の役割とそれ以外の仕事を合理化することなど、10年先の事までみすえたプランが必要であり、そこに重点投資するような施策が必要だと感じました。

Yさん

法人化から3年9ヶ月を経過しこの間事務職員を取り巻く状況はどうであろうか。法人化前に提出を余儀なくされた中期計画・中期目標、それに書き込んだ内容の達成状況はどうだろうか。何事も評価、評価が付きまわっているように思えてならないと思うのは私ばかりでないと思う。無理やり書き込んだ計画・目標に対する達成度なんかどうでもいいかと思ってしまうこの頃である。だがしかし、通常業務に忙殺されてはいるものの、確かに従来にない業務量調査や今回の人事評価制度などの案件をすること自体が法人化され、コスト意識を植え付けられている気がしている。こういった状況はこれからも続くであろうが、真に受ける前に問題意識を持ち、疑問を投げかけ、みんなで考え、解決策を今一つ輪を広げ大いに語りたいと思う次第です。そんな気がより深まった検討会でした。

Fさん

久々に顔を合せ、いろいろな意見を聞くことが出来、よかった！

自分の仕事のことだけで精一杯の毎日ですが、事務全体のことがわかり、“批判ばかりでなく、まず中身の検討を!!”というアドバイスに納得するものの、目先のことに追われ、つつい。やはり多忙を口実に話し合いの手抜きはいけないこと、事務部会も定期的に集まれるよう、皆でアイデアを出したいものと思いました。

まもなく、2回目の試行が始まるつとしています。評価制度に関するご意見を組合までお寄せ下さい。

名大職組メールアドレス：nuufs@nuufs.org

<編集後記>

ある職場では、超勤について、年度始めには実態の時間数でとの指示でしたが、最近になって予算の枠内で、掛単位で管理してほしいと方針が転換しました。説明によれば、このままでは予算が不足してしまうとのこと。なるべく、早く帰るようにとのことでしたが、その場合残った仕事をだれが、いつ処理するのか不明です。業務量にあった定員の再配置、当面はパート雇用、実態に基づく超勤の支払・・・当局は再考してほしいと思います。

誰もが健康で働き続けられるために、職場の現状を出し合い要望していきましょう！！

【暑い夏のお楽しみ企画】

残暑払いを8月28日（木）午後6時半から本山界限で行います。

奮ってご参加ください。詳細は次号で・・・。



あなたもぜひ組合に！！＝＝＝組合は数が力です＝＝＝

TEL/FAX 052-789-4913(内線 4913) Office 工学部2号館北館332

URL <http://nuufs.org>

E-mail <mailto:nuufs@nuufs.org>
